

2024.12.23 社会貢献セミナー2024



赤い羽根
福祉基金



共同募金会の助成 プログラムについて

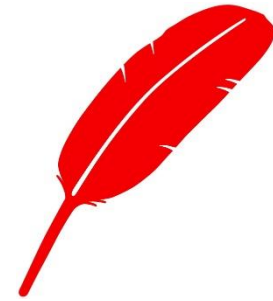
赤い羽根
ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた
福祉活動応援キャンペーン

中央共同募金会

基金事業部長 山内秀一郎



共同募金会の助成金は、
企業や個人の皆さまからの
寄付金を原資にしています。



寄付にあたっては・・・、
役立てたい用途に応じて
助成プログラムを選択いただけます。



共同募金会が現在運営している助成プログラム

都道府県共同募金会



1 赤い羽根共同募金 1947～

地域の福祉活動に

- ① 「じぶんの町を良くするしくみ。」
都道府県ごとに募金活動と助成を行う
※災害発生時に、募金の3%に限り、都道府県域を超えて拠出可能な「災害等準備金」の仕組みがある。
- ② 毎年全国の5万件近くの**地域のボランティア活動や福祉施設などを支援**
・・・1件あたりの**助成額は平均 数十万円 程度**
- ③ **計画募金**・・・あらかじめ地域の資金ニーズを取りまとめた後から募金を行う

70年余りの募金総額は1兆円以上！
多大なご支援に感謝！

中央共同募金会



2 ボラサポ 「災害ボランティア・ NPO活動サポート募金」 2011～

国内の災害被災地支援に



赤い羽根
福祉基金

3 赤い羽根福祉基金 2016～

制度の狭間の福祉課題解決に

- ① 最大3か年度まで助成 ※一般助成
- ② 1年あたり最大1000万円 ※一般助成
- ③ 事業にかかる管理経費も対象

4 ポスト・コロナキャンペーン (全国キャンペーン) 2020～

コロナ禍の緊急支援に
フードバンク、居場所を失った人、
草の根活動、外国ルーツ、重症児等
と家族、孤立防止など



多様な参加方法、テーマ、助成プログラム

個人寄付
法人寄付
従業員寄付
寄付つき商品
イベント寄付
遺贈 など



赤い羽根共同募金

- ◆ 都道府県共同募金会が都道府県ごとに実施
- ◆ 地域の困りごとを解決するための多様な活動を支える資金として、**高齢者、子どもたち、障がい者、生活困窮者など**を対象とした活動（全国で毎年5万件弱の活動）を支援
- ◆ 全国的な支援と特定地域の支援のいずれも可能



赤い羽根
福祉基金

福祉基金

- ◆ 公的制度やサービスでは対応できない福祉課題の解決に向けて、先駆的、モデル的で、今後全国または広域的な広がりが期待できる事業・活動を支援
- ◆ **ヤングケアラー、犯罪につながる恐れのある若者、産前産後の子育て家庭、認知症高齢者など、多様な課題解決の活動への助成を実施**
- ◆ これまでの助成実績 176事業 11億224万円（2017～2024）

冠基金

- ◆ 盛和塾「社会人定着応援プログラム」 児童養護施設等の退所児童
- ◆ 清水育英会「経済的困窮や社会的孤立にある子どもの学習・生活支援助成」
- ◆ コープみらい「子ども・子育て支援助成」
- ◆ 篠原欣子記念財団「こども食堂支援助成」 こども食堂
- ◆ 「被害者やその家族等への支援活動助成」 犯罪等の被害者

テーマ助成

- ◆ 「**居場所を失った人**への緊急活動応援助成」
- ◆ 「**外国ルーツの人々**への支援活動応援助成」
- ◆ 「**重症児と家族**に対する支援活動応援助成」 など



ボラサポ

- ◆ ボラサポ「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」
- ◆ 風水害や地震等の**災害で被災された方々**の生活を取り戻すために、ボランティアグループやNPO等が行う被災者支援の活動を支援
- ◆ これまでの助成実績 16,963件 64億7613万円（2024.7月末現在）

ボランティア
団体、NPO、
福祉施設
など

助成金応募



(参考) 福祉基金 2024年度採択事業一覧

新規採択 12件

助成決定額...単位(万円) ◆重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出活動応援助成」

都道府県	団体名	事業名	助成決定額
宮城県	WorldOpenHeart	再犯防止と高齢者が安心して暮らすことができるための 高齢犯罪者とその家族 の相談支援	300
東京都	芸術家と子どもたち	少年院での、プロの芸術家による表現ワークショップを通じた、 生きづらさを抱える若者 のための心のケアと自立支援事業	500◆
東京都	巣立ち会	思春期・青年期の若者 に対するシームレスな支援体制構築事業	500◆
東京都	キッズドア	子どもの貧困問題 の根本的な解決のための実践的研究と情報発信	755
神奈川県	パノラマ	働く不安の強いひきこもりや、サポートを必要とする高校生 のための支援付き無料職業紹介バイターン普及事業	495◆
神奈川県	びじっと・離婚と子ども問題支援センター	多くの子どもが 面会交流支援 を受けられるための、小規模面会交流支援団体のサポート体制構築事業	484
神奈川県	フェアスタートサポート	児童養護施設等で暮らす子ども達・退所者 の為に施設と企業が連携し地域で就労を支援する体制整備の全国展開	989
岐阜県	ひだまり創	要支援・要介護高齢者や 認知症高齢者 が持つ技術をつなぐ、 地域単位でのマッチング支援 の仕組みづくり活動	966
愛知県	LivEQuality HUB	公的支援からこぼれる 母子家庭 のハイリスク層転落防止に重点を置いた、 住まいを起点とした地域基盤構築活動	963
愛知県	アイキャン	住民主体の 多文化共生地域福祉 の推進と先進的な事例を波及させる手法開発のための実践研究	812
大阪府	虹色ダイバーシティ	LGBTQセンターを活用した、 LGBTQ当事者 の孤立防止と若者のためのLGBTQに関する学びの場作り	972
香川県	未来ISSEY	長期入院・療養中の高校生 の学びを止めないための協力体制構築事業	294◆



(参考) 福祉基金 2024年度採択事業一覧

継続採択 17件

助成決定額...単位(万円) ◆重点助成「生きづらさを抱える若者の未来創出活動応援助成」

都道府県	団体名	事業名	助成決定額
宮城県	全国コミュニティライフサポートセンター	「属性を問わない緊急一時支援」の全国波及のための調査研究及び実践ガイド、ネットワーク構築事業	972
東京都	ヤングケアラー協会	ヤングケアラーが自分らしく生きられる社会を創る活動	500◆
東京都	全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会	若年性認知症の介護家族会の立ち上げ支援とネットワーク作り活動事業	254
神奈川県	つなぐ	知的障害・精神障害の方のための意思決定支援ツールの開発	358
神奈川県	子ども支援センターつなぐ	子どもの性被害への対応に関する実態調査	274
栃木県	栃木県若年者支援機構	「世界にひとつだけのサステナブルリメイク」事業を通して、8050問題当事者の就労に繋がる出口を作る	773
埼玉県	さいたまユースサポートネット	ヤングケアラーの子ども・若者を地域で発見し、支えるためのネットワークづくり事業	1000
東京都	アクセプト・インターナショナル	犯罪に繋がる恐れのある若者のための緊急居住支援、および相談・生活支援を含む社会定着支援事業	500◆
東京都	SDGs市民社会ネットワーク	NPOが「誰一人取り残さないSDGs」の達成にエンパワメントを重視した調査研究事業	963
東京都	POSSE	女性及びセクシャルマイノリティの職場におけるジェンダー差別やハラスメント被害に関する相談支援事業	849
神奈川県	多様な学びプロジェクト	不登校の子と保護者を支える居場所運営者の為の研修サイトとプログラム開発、及び地域ネットワーク構築事業	900
神奈川県	びーのびーの	産前産後の子育て家庭を支えるための地域版セーフティネット創出のための活動	824
愛知県	仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ	社会との連携モデルによる仕事と治療の両立支援体制を社会システムへと定着させるための基盤づくり事業	900
滋賀県	長浜市社会福祉協議会	持続可能な地域共生社会を実現するための分野横断的専門人材の育成と相談窓口設置事業	418
大阪府	チェンジングライフ	自立援助ホームを起点とする包括的シェルター基盤整備事業	500◆
大阪府	はんもっく	訴えの出ない孤立した母子を産後ケアから地域につなぐ子育て支援の活動	750
岡山県	岡山NPOセンター	困難を抱える子ども・家庭の支援に取り組む支援者が持続的に働くためのメンタルケア活動	318
愛媛県	Community Life	生きづらい若者が「学び直し」できる夜間教室開設事業	500◆
福岡県	抱樸	十分な社会的スキルを得ないまま「高校卒業」する若者たちへ社会参加や就労等の支援を行う事業	500◆



ボラサポ・令和6年能登半島地震

- ・短期：30日以内の活動、1件あたりの助成上限額は50万円
 - ・中長期：31日以上活動、1件あたりの助成上限額は300万円
- 長いスパンで被災者の生活再建やコミュニティ再興等の活動を支援

発災直後から、公的な支援と並行して、多くのボランティア団体やNPOが被災地に入り、炊き出し、物資支援、入浴支援、家屋の片付けなど、懸命に「命をつなぐ」活動が行われてきました。発災から半年が経っても、特に奥能登地域では上下水道の復旧工事は進んでいるものの、自宅敷地内での工事ができていないケースも多く、1年が経とうとしている今も依然として過酷な生活を強いられている方もいます。一方で応急仮設住宅でのコミュニティや人と人とのつながりの再構築など、新たなニーズも出てきています。

被災地では、炊き出しや被災者が必要とする物資を届ける活動や、重機による家屋の解体や家財の取り出し、がれき撤去、仮設住宅での被災者の生活環境を整備する活動や被災者のコミュニティづくりのためのサロン活動のほか、特に女性や子ども・若者に特化した支援活動や、ボラバスで多くのボランティアを被災地に送り込む活動、ボランティアの宿泊拠点を整備する活動など様々な活動が展開されていて、ボラサポでは第5回助成までに延べ353件の活動に5億8000万円を超える助成を行っています。

■ 寄付額 10億6847万円（9月末現在）

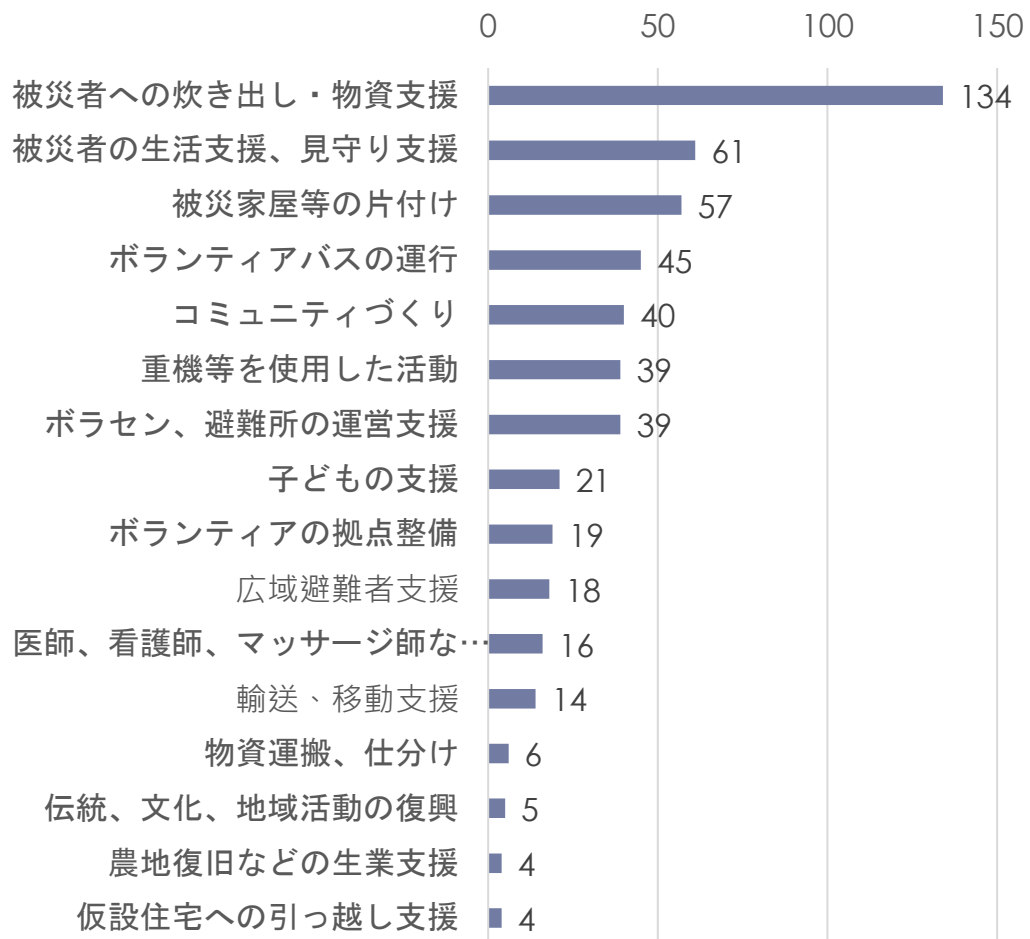
■ 助成状況 353件 5億8026万円（第6回助成は1月中旬に決定予定。1月に第7回応募を受付予定。）

	助成決定日	助成件数	助成金額
第1回短期助成事業	2月28日	22件	956万円
第1回中長期助成事業	3月11日	37件	7,948万円
第2回短期助成事業	4月17日	30件	1,088万円
第2回中長期助成事業	5月7日	60件	1億4,843万円
第3回短期助成事業	6月10日	20件	638万円
第3回中長期助成事業	6月29日	53件	1億3,321万円
第4回短期助成事業	8月8日	28件	973万円
第4回中長期助成事業	8月26日	52件	1億1,327万円
第5回短期助成事業	10月15日	23件	701万円
第5回中長期助成事業	10月31日	28件	6231万円
合 計		353件	5億8,026万円



ボラサポ・令和6年能登半島地震

★助成金による主な活動内容



- 「被災者への炊き出し・物資支援」が134件（全体の26%）を占め、特に第1回助成から第3回助成への応募での割合が高い結果となった。
- 避難所や仮設住宅、在宅での「被災者の生活支援、見守り支援」は61件と2番目に多く、被災者への戸別訪問や生活相談、心のケアに関わる活動が多くみられた。
- 全体の傾向としては、第1回から第3回においては「被災者への炊き出し・物資支援」及び「ボランティアセンター、避難所への運営支援」の割合が高く、第4回では「被災者の生活支援、見守り支援」や「ボランティアバスの運行」、第5回では被災者同士のつながりづくりのための「コミュニティづくり」がそれぞれ多い結果となった。発災からの時系列で、主な活動内容が変化してきたことが見て取れる。
- また、「ボランティアの拠点整備」や「広域避難者支援」として被災地外に避難している人向けのサロンや外出支援などの活動が多くみられたことも、能登半島地震の特徴である。